

平成27年3月期 第1四半期
決算補足説明資料
(連結)

平成26年8月12日

目次

課題と事業展開	… 3	補足資料	
目指すべきビジネスモデル	… 4	平成27年3月期 業績予想(通期)	…15
損益計算書	… 5	サービス別売上高予想(通期)	…16
サービス別売上高	… 6	平成27年3月期 業績予想(半期別)	…17
営業費用	… 7	サービス別売上高予想(半期別)	…18
損益計算書(四半期推移)	… 8		
サービス別売上高(四半期推移)	… 9		
営業費用(四半期推移)	…10		
貸借対照表	…11		
キャッシュ・フロー	…12		
お問い合わせ	…13		

課題と事業展開

課題

①利益成長

現時点における利益の伸長は緩やかであり、短期間で大きな成長を見込むのが難しい

②ユーザーニーズの多様化

ニーズの高度化・多様化に対応したソリューションも提供していかないと、市場競争力を失う可能性がある



事業展開

企業規模を拡大し、短期間でストック売上を大幅に積み上げることで、大きな利益成長を目指すために、5つの取組みを推進

新事業の
立上げ

業種特化型の
取組みの強化

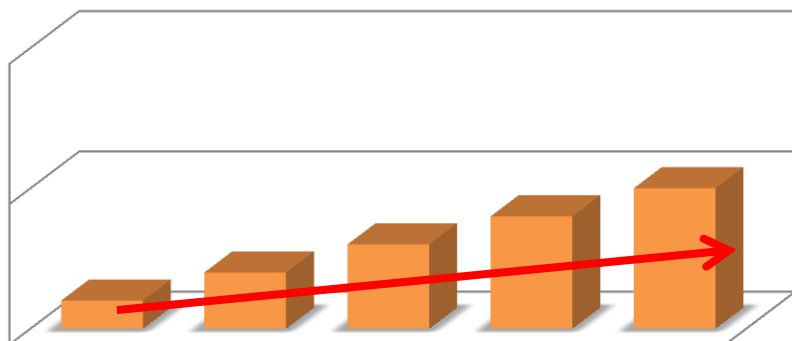
商材・サービスの
ラインナップの拡充

営業稼働人員の
大幅な増員

HPソリューション
事業の拡大

目指すべきビジネスモデル

現在のストック型ビジネス

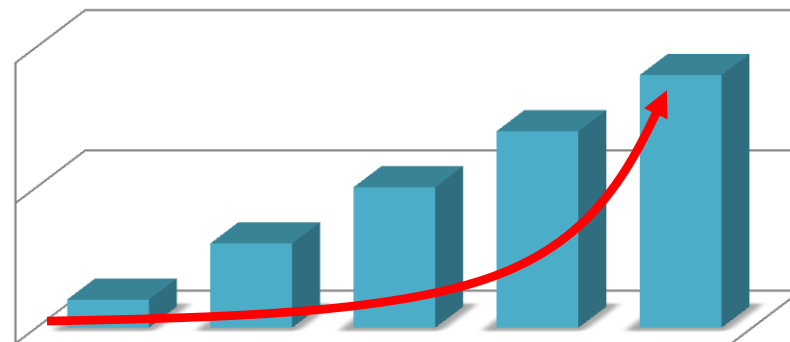


1ヶ月 2ヶ月 3ヶ月 4ヶ月 5ヶ月

■ ストック型収入

利益が緩やかに伸長

目指すべきストック型ビジネス



1ヶ月 2ヶ月 3ヶ月 4ヶ月 5ヶ月

■ ストック型収入

短期間での大きな成長

損益計算書

システム・メディアソリューションの立ち上げに伴い、費用が先行するため、**営業利益以下の各区分利益において損失を計上**

【単位:百万円】	H26.3 1Q累計	売上比	H27.3 1Q累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上高	1,101	100.0%	1,363	100.0%	+23.8%	+261
売上原価	267	24.3%	358	26.3%	+34.0%	+90
売上総利益	833	75.7%	1,004	73.7%	+20.5%	+170
販管費	797	72.4%	1,755	128.8%	+120.2%	+958
営業利益(△損失)	36	3.3%	△750	△55.1%	—	△787
経常利益(△損失)	74	6.8%	△752	△55.2%	—	△827
四半期純利益(△純損失)	66	6.0%	△771	△56.6%	—	△837

- » システム・メディアソリューションの本格立ち上げを開始したこと等により、**売上高が23.8%増加**
- » 上述の立ち上げにより、費用が先行することとなる影響等により、**営業費用が98.5%増加**
- » 結果、**営業利益以下の各区分利益において損失を計上**

サービス別売上高

システム・メディアソリューションの立ち上げに伴い、**売上高が増加**

【単位:百万円】	H26.3 1Q累計	構成比	H27.3 1Q累計	構成比	対前期 増減率	対前期 増減額
HPソリューション	1,101	100.0%	1,154	84.7%	+4.8%	+52
ストック売上	367	33.3%	405	29.7%	+10.4%	+38
フロー売上	734	66.7%	748	54.9%	+2.0%	+14
システム・メディアソリューション	—	—	209	15.3%	—	+209
ストック売上	—	—	58	11.0%	—	+58
フロー売上	—	—	150	4.3%	—	+150
売上高	1,101	100.0%	1,363	100.0%	+23.8%	+261

※1:HP(ホームページ)ソリューションは、旧商材ITパッケージとクラウドパッケージの他、ヤフー商材、WEB広告、WEB制作等の売上高を示します。

※2:システム・メディアソリューションは、ポータルサイトの運営・広告掲載、予約・顧客管理システム等の売上高を示します。

※3:ストック売上は、サービス料(月額課金)の売上高を、フロー売上は、初期導入費用(導入初月に一括計上)の売上高を示します。

- » HPソリューションは、クラウドパッケージの契約アカウント数の増加等により、**ストック売上が10.4%増加**
- » システム・メディアソリューションは、**本格立ち上げ開始に伴い増加**
- » 結果、**売上高は23.8%増加**

営業費用

営業稼働人員の大幅な増員の影響で、**販管費が大幅に増加**

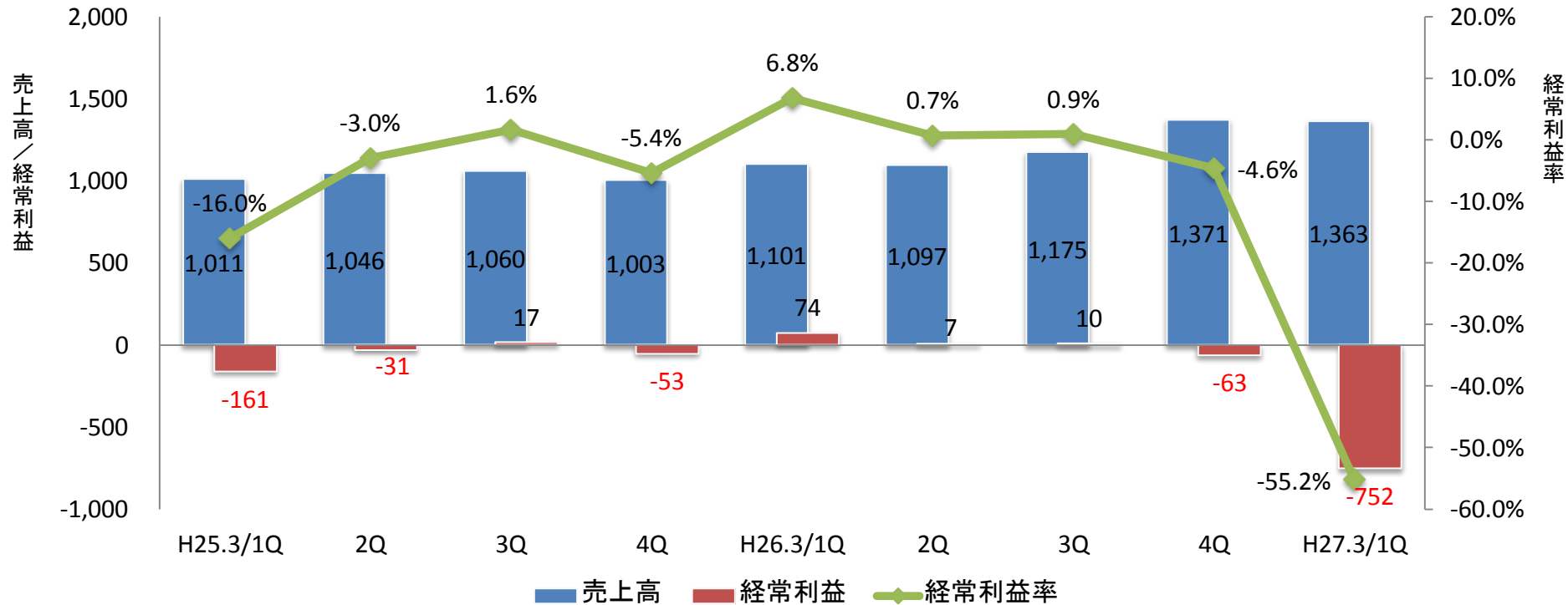
【単位:百万円】	H26.3 1Q累計	売上比	H27.3 1Q累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上原価	267	24.3%	358	26.3%	+34.0%	+90
人件費	497	45.2%	1,007	73.9%	+102.5%	+510
地代家賃	59	5.4%	85	6.2%	+43.9%	+25
旅費交通費	53	4.9%	98	7.2%	+84.0%	+44
その他販管費	187	17.0%	564	41.4%	+201.3%	+377
販管費	797	72.4%	1,755	128.8%	+120.2%	+958
営業費用	1,064	96.7%	2,113	155.1%	+98.5%	+1,049

- » システム・メディアソリューションの立ち上げ等による、営業稼働人員の大幅な増員の影響で、**販管費が120.2%増加**
- » 結果、売上増に伴い、売上原価も増加したため、**営業費用は98.5%増加**

損益計算書(四半期推移)

システム・メディアソリューションの立ち上げに伴い、費用が先行するため、**経常損失を計上**

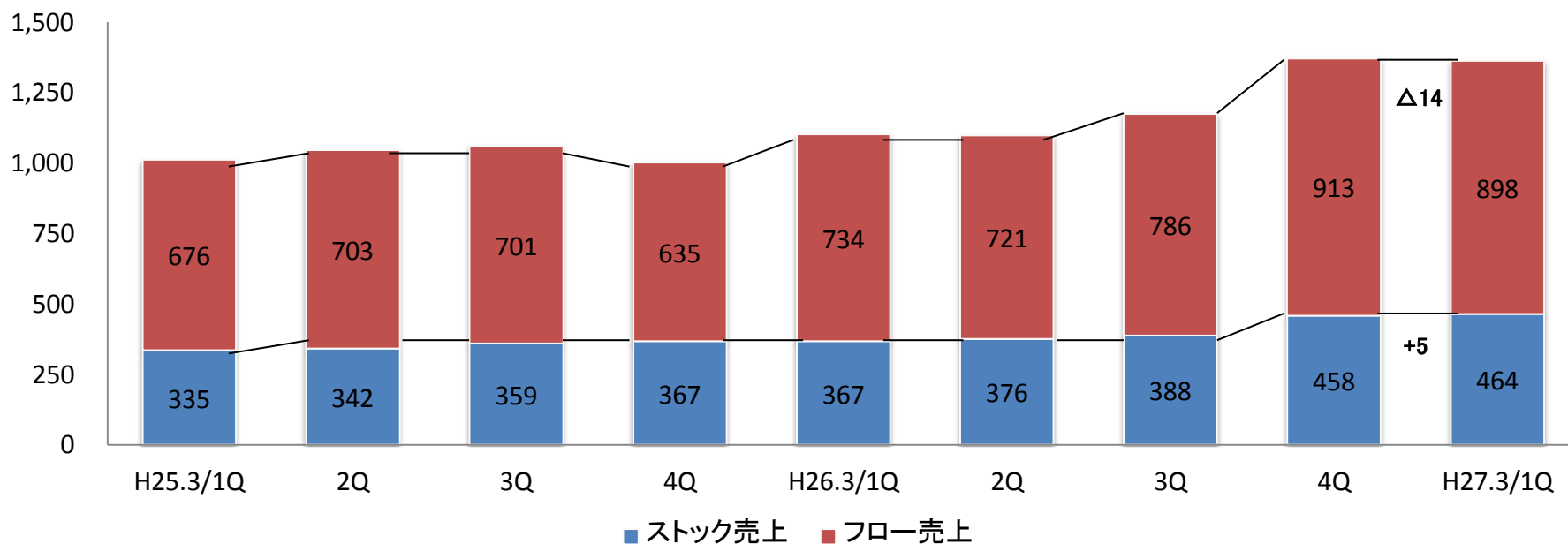
【百万円】



サービス別売上高(四半期推移)

ストック売上は増加、フロー売上は減少

【百万円】



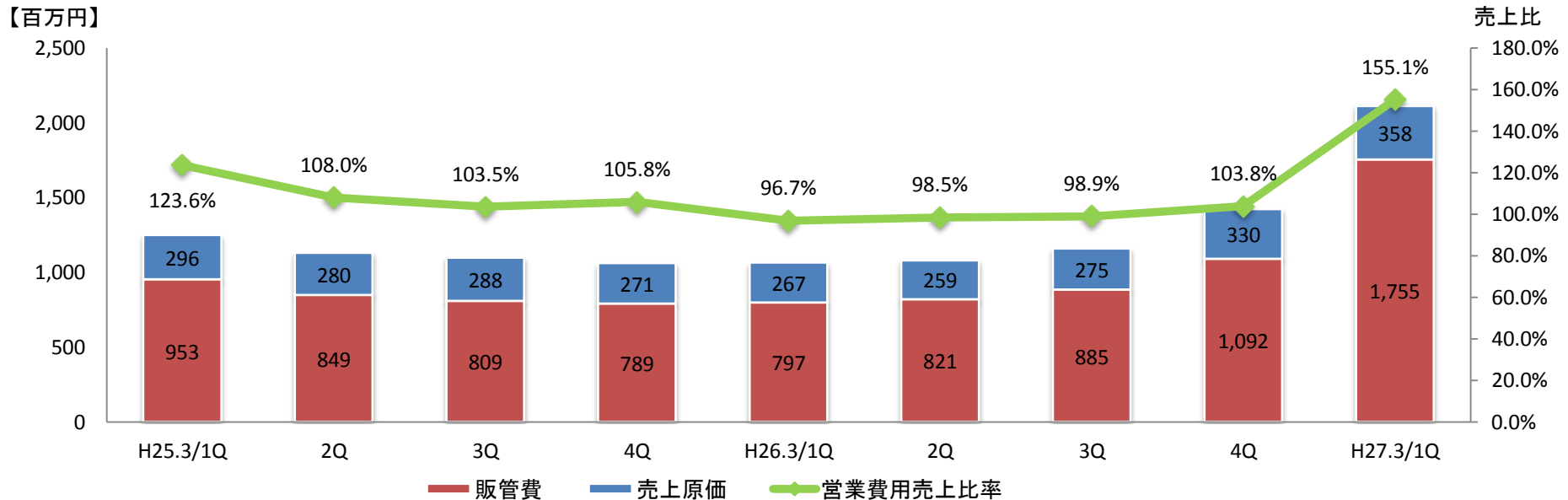
第1四半期の状況（前四半期比較）

- » 売上が積み上がるまでには多少の期間を要するものの、契約アカウント数の増加に伴い、**ストック売上は増加**
- » 消費税引上げに伴う駆け込み需要の反動による影響等により、**フロー売上は減少**

営業費用(四半期推移)

営業稼働人員の増員等により、**大幅に増加**

営業費用	1,250	1,129	1,098	1,060	1,064	1,080	1,161	1,423	2,113
売上比	123.6%	108.0%	103.5%	105.8%	96.7%	98.5%	98.9%	103.8%	155.1%



第1四半期の状況（前四半期比較）

- » 営業稼働人員を大幅に増員し、ストック売上の積み上げ等を推進したこと等により、**販管費が60.6%増加**
- » 売上高の増加に伴い、売上原価も増加したため、**営業費用は48.5%増加**

貸借対照表

流動資産及び純資産が減少し、流動負債が増加

【単位:百万円】	H26.3末	構成比	H27.6末	構成比	対前期末 増減率	対前期末 差額
流動資産	2,033	57.7%	1,421	44.4%	△30.1%	△611
固定資産	1,487	42.3%	1,777	55.6%	+19.5%	+289
資産 合計	3,520	100.0%	3,199	100.0%	△9.1%	△321
流動負債	937	26.6%	1,359	42.5%	+45.0%	+422
固定負債	403	11.5%	429	13.4%	+6.3%	+25
負債 合計	1,341	38.1%	1,789	55.9%	+33.4%	+447
純資産 合計	2,179	61.9%	1,409	44.1%	△35.3%	△769
負債・純資産 合計	3,520	100.0%	3,199	100.0%	△9.1%	△321

- » 現金及び預金の減少等により、**流動資産が減少**
- » 商材の開発推進や投資有価証券の取得等により、**固定資産は増加**
- » 未払金の増加等により、**流動負債が増加**
- » 四半期純損失の計上による利益剰余金の減少等により、**純資産が減少**

キャッシュ・フロー

営業キャッシュ・フローの悪化等により、**現金及び現金同等物が減少**

【単位：百万円】	H26.3 1Q累計	H27.3 1Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47	△381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27	△302
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△74	△684
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,249	567

- » 税金等調整前四半期純損失の計上等により、**営業CFはマイナス**
- » 商材の開発推進による無形固定資産の取得や投資有価証券の取得等により、**投資CFはマイナス**
- » 結果、財務CFは発生がなかったため、**現金及び現金同等物の四半期末残高は減少**

お問い合わせ先

株式会社アイフラッグ 管理本部 管理部 (IR担当)

Tel 03-5733-4492

Mail ir@iflag.co.jp

IRインフォメーション

株式会社アイフラッグ IRページ

<http://www.iflag.co.jp/ir.html>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が入手している情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により、本資料に記載されている情報と大きく異なる可能性があります。

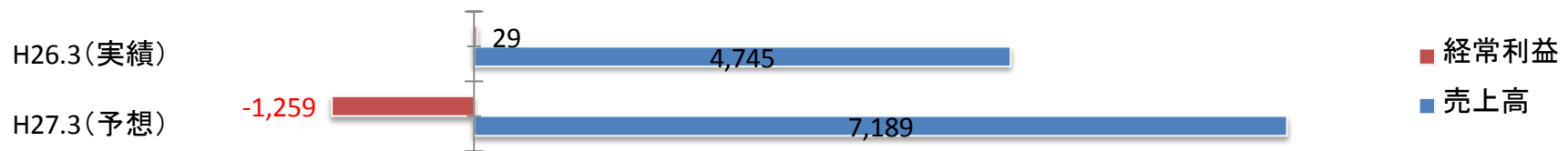
当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料の業績見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

補足資料

平成27年3月期 業績予想(通期)

【単位:百万円】	H26.3通期 (実績)	売上比	H27.3通期 (予想)	売上比	対前期 増減率	対前期 増減額
売上高	4,745	100.0%	7,189	100.0%	+51.5%	+2,444
売上原価	1,133	23.9%	1,881	26.2%	+66.0%	+747
売上総利益	3,612	76.1%	5,308	73.8%	+47.0%	+1,696
販管費	3,597	75.8%	6,562	91.3%	+82.4%	+2,965
営業利益(△損失)	14	0.3%	△1,253	△17.4%	—	△1,268
経常利益(△損失)	29	0.6%	△1,259	△17.5%	—	△1,289
当期純利益(△純損失)	8	0.2%	△1,277	△17.8%	—	△1,285



通期の予想 (H26.3期比較)

- » システム・メディアソリューションの立ち上げ等により、**売上高が51.5%増加の見込み**
- » 営業稼働人員の大幅な増員等により、**営業費用は148.4%増加の見込み**
- » 結果、費用が先行するため、**営業利益以下の各区分利益が赤字となる見通し**

サービス別売上高予想(通期)

【単位:百万円】	H26.3通期 (実績)	構成比	H27.3通期 (予想)	構成比	対前期 増減率	対前期 増減額
HPソリューション	4,619	97.3%	5,007	69.7%	+8.4%	+388
ストック売上	1,528	32.2%	1,831	25.5%	+19.8%	+302
フロー売上	3,090	65.1%	3,176	44.2%	+2.8%	+86
システム・メディアソリューション	126	2.7%	2,181	30.3%	+1,625.5%	+2,055
ストック売上	61	1.3%	878	12.2%	+1332.1%	+817
フロー売上	65	1.4%	1,303	18.1%	+1,893.8%	+1,237
売上高	4,745	100.0%	7,189	100.0%	+51.5%	+2,444

※ H26.3通期(実績)及びその構成比につきましては、従来のIT支援売上のうち、株式会社スフィータの売上をシステム・メディアソリューションのストック及びフロー売上に、その他の売上をHPソリューションのフロー売上に変更しています。

平成27年3月期 業績予想(半期別)

【単位:百万円】	H27.3上期 (予想)	売上比	対前期 増減率	H27.3下期 (予想)	売上比	対前期 増減率
売上高	3,096	100.0%	+40.8%	4,093	100.0%	+60.7%
売上原価	877	28.3%	+66.5%	1,004	24.5%	+65.6%
売上総利益	2,219	71.7%	+32.7%	3,088	75.5%	+59.2%
販管費	3,206	103.6%	+98.1%	3,355	82.0%	+69.6%
営業利益(△損失)	△987	△31.9%	—	△266	△6.5%	—
経常利益(△損失)	△989	△32.0%	—	△270	△6.6%	—
当期純利益(△純損失)	△998	△32.2%	—	△278	△6.8%	—

サービス別売上高予想(半期別)

【単位:百万円】	H27.3上期 (予想)	構成比	対前期 増減率	H27.3下期 (予想)	構成比	対前期 増減率
HPソリューション	2,372	76.6%	+7.9%	2,635	64.4%	+8.9%
ストック売上	852	27.5%	+14.7%	978	23.9%	+24.6%
フロー売上	1,519	49.1%	+4.4%	1,657	40.5%	+1.4%
システム・メディアソリューション	724	23.4%	—	1,457	35.6%	+1052.8%
ストック売上	221	7.1%	—	657	16.1%	+971.8%
フロー売上	503	16.2%	—	800	19.5%	+1,124.1%
売上高	3,096	100.0%	+40.8%	4,093	100.0%	+60.7%

※ 対前期増減率の算出にあたっては、従来のIT支援売上のうち、株式会社スフィードの売上をシステム・メディアソリューションのストック及びフロー売上に、その他の売上をHPソリューションのフロー売上に変更しています。